



サーうん サーうん (斗賀野小学校運動会)

# あかわ *Sakawa* 議会だより

56  
2013.12.1

発行 高知県佐川町議会

9月定例会

contents 目次



四ツ白太刀踊 (県無形文化財)

町議会新たな構成決まる	2
平成24年度決算 財政の健全化進む	6
2期8年の総括は	17
一般質問	
がいな小富士団地販売(あの質問のゆくえ)	24

# 元気いっぱいのもちを目指して

## 力を合わせてがんばります

町民に軸足を置いた議会へ



議長 藤原 健 祐

町民に信頼される議会へ

このたびの臨時会におきまして、議員各位のご推挙により議長を拝命いたしました。地方議会に対する厳しい時代に大役を賜り、その重責に身の引き締まる思いです。全国的中山間自治体と同様、急激な少子高齢化、人口減少、過疎化が本町でも進んでおり、さまざまな課題も山積している中、本町におきましては、先の町長選挙、町議会議員選挙により、新町長が誕生するとともに、議会も3人の新しい議員を迎えることになりました。議会として、執行部に

対しての提言能力を上げるため、我々議員には、より大きな責任と高い能力が課せられることとなります。

今後、住民福祉向上のため、町民に軸足を置いた議会を目指し、町民の目線に立って、執行部と、車の両輪として円滑な議会運営をしていきたいと考えておりますので、一層のご指導ご鞭撻を、よろしくお願いいたします。

このたび、町議会議員選挙後の臨時会において、副議長に選任されました。身に余る光栄に感じますとともに、その職責の重大さに、身の引き締まる思いです。

さて、さる10月6日に行われました、町長選挙・町議会議員選挙を終え、執行部、議会ともに、新しい体制でのスタートとなりました。執行部におきましては、2期8年間務めていただいた榎並谷町長から、堀見町長へと代わりました。

これからどういった町づくりが進められていくのか、大きな関心を寄せられていることだと思います。そういった転換点に当たり、我々議会の責任は大変、大きなものがあります。

時にはアクセル役を果たし、時にはブレーキをかけ、政策提言機能とチェック機能をしっかりと果たし、町民の皆さんに信頼される議会を目指し、全力で取り組んでまいります。一層のご指導とご支援を心からお願い申し上げます。



副議長 松浦 隆 起

10月22日に臨時会が開かれ、正副議長や各常任委員をはじめ、議会の新しい人事構成が決まりました。

## 総務文教常任委員会

主に総務課、税務課、収納管理課、教育委員会などの所管に関する事項、請願、陳情を調査・審査します。



委員長・5期  
西村 清勇 議員

厳しい経済不況の中、来年度から消費税も上がろうとしています。ますます国民は暮らしにくいことになるのではないだろうか。佐川町も新しい若い町長が誕生し、町政が変わるかもわかりません。私たちも住民の声を聞き、農業や福祉、少子化問題に取り組んでいきたいと思っています。ご指導をよろしく願います。



5期  
今橋 寿子 議員

今、地方を取り巻く環境は厳しく、町政の課題も山積してまいりました。

女性議員も複数となりましたので、女性の視点でその課題を精査し、それぞれの立場の皆さんの底力が発揮できるように提案をしっかりと行ってまいります。



7期  
藤原 健祐 議員

別掲 2ページ  
議長あいさつ



副委員長・2期  
片岡 勝一 議員

大変厳しい経済状況と少子高齢化社会、と言われている中で農業と産業の振興に努め、水害対策に取り組み、子供から大人までがこの佐川に住みたい、佐川に住んでよかった、と心から言える活気ある町づくりを目指して全力で取り組む決意を新たにしております。ご指導よろしく願います。



1期  
邑田 昌平 議員

今、この国の構造が大きく変わろうとしている。超高齢社会の到来です。介護、福祉、少子化対策、医療など、真に豊かな高齢社会の実現に向けた社会制度の整備、意識変革が求められている。その実現に向けて取り組んでまいりますので、今後ともよろしく願います。



2期  
森 正彦 議員

「佐川に住んでいてよかった」と思える町づくりを進めます。このことが、産業、教育文化、健康福祉、災害対策等、全ての政策の基となります。

新しい次代の町づくりに町民の皆様の代表として、議会と議員の役割を自覚し責任を全うします。



4期  
中村 卓司 議員

議会では議会改革が叫ばれています。

議会改革とは、議員定数、地区での議員懇談会開催等々が話し合われています。それも重要なことではありますが、本当の議会改革とは、議員一人一人が高い意識と見識を持ち、主流、反主流の枠を越え、町民目線で町政に真正面から取り組むべきだと考えます。

私は全身全霊でそれに取り組みます。

# 産業厚生常任委員会

主に産業建設課、国土調査課、健康福祉課、町民課、病院などの所管に関する事項、請願、陳情を調査・審査します。



委員長・3期  
岡村 統正 議員

引き続き町民の皆様の声を、町政に届けてまいります。南海トラフ地震に対する家屋の耐震、防災対策、孤立が考えられる地区への、防災ヘリへの緊急離着陸場の必要性、町民の安心・安全と福祉の向上、子育て支援の拡充等を目指してまいります。



5期  
松本 正人 議員

厳しい政治が続いていますが、新しい流れも生まれつつあると感じています。これまでの経験にさらに磨きをかけ、住民が主人公の町づくりに積極的に提案していきたいです。ご意見お待ちしております。



5期  
永田 耕朗 議員

急速に高齢化社会へと進展する中で、活力ある地域社会の構築が行政の大きな課題であります。執行部、議会、町民の方々との連携が重要であります。町民の皆様の声に耳を傾け、住民参加のまちづくりを進めてまいりたいと決意を新たに致しております。



副委員長・6期  
徳弘 初男 議員

国政もやっと安定してきました。町政も安定を望むものであります。子供さんからお年寄りまで健康で元気に安心して暮らせる町づくり、防災地震対策、少子高齢化福祉対策等、取り組む問題が山積している中で、これらの問題を微力ではございますが努力してまいりますので、今後ともご指導とご鞭撻よろしく願います。



1期  
下川 芳樹 議員

佐川町に住む全ての人たちが、元気で明るい生活を営むことができるように、行政と住民が役割を分担し、力を合わせて町づくりに取り組む時です。そのための拠点を整え、そこに人が集い、人が育ち、話し合いの中からみつける地域の課題を皆さんと一緒に解決してまいります。



1期  
坂本 玲子 議員

佐川町の方々は、“佐川を変えたい”その願いを新町長や議員に託しました。みんなが安心してイキイキと住める町を目指して、皆さんの声をしっかり受け止め、本当に必要な施策や事業の実現に向けて努力していきたいと思っています。私たちの手で私たちのための佐川町を一緒につくっていきましょう!



3期  
松浦 隆起 議員

別掲 2ページ  
副議長 あいさつ

## 議会広報編集委員会

議会の審議、活動等について広く、住民の方に公開周知することを目的に、議会広報の編集を行ないます。



前列右より  
坂本 玲子  
◎ 森 正彦  
○ 片岡 勝一  
後列右より  
邑田 昌平  
下川 芳樹

## 議会運営委員会

議会の日程、議案や一般質問の取り扱いなど議会運営を円滑に行うために必要な事項や、議長からの諮問事項を審査します。



◎ 委員長 ○ 副委員長  
前列右より  
徳弘 初男  
◎ 永田 耕朗  
○ 今橋 寿子  
後列右より  
岡村 統正  
片岡 勝一  
松本 正人

## 国道494号佐川バイパス 整備促進特別委員会



前列右より  
今橋 寿子  
◎ 松本 正人  
○ 松浦 隆起  
後列右より  
森 正彦  
邑田 昌平

※適正な行財政運営が行われているか、定期的に監査します。



徳弘 初男

### 議会選出 監査委員

藤原 健祐  
今橋 寿子  
永田 耕朗  
松浦 隆起

### 高吾北広域町村 事務組合議会議員

藤原 健祐  
下川 芳樹

### 日高村佐川町 学校組合議会議員

## 一般会計・特別会計決算を認定

# 財政の健全化進む

## 平成24年度決算

総額2億5,767万円の黒字決算

**一般会計**  
平成24年度の決算において、借入金が増加した原因は、町立病院の耐震化工事に伴う借入れのための一時的な増加であり、全体的には、積立金は増加しており、町財政は少しずつ健全化が進んでいる。

**一般会計**  
町の一般会計は、歳入、歳出ともに3億円余り減少している。  
(詳しい内容は8P参照)

**病院事業**  
病院会計は、前年度に引き続き今年度も医業収益の増加等で7千万円余りの黒字となっており、昨年より利益が増加している。

**水道事業**  
水道会計は、前年に引き続き、1千5百万円余りの黒字となっている。



**町の借入金**  
町の借入金は、一般会計では、借入金よりも償還金のほうが多く、5億円余り減少した。特別会計では、高北病院の耐震化に伴い借入金が7億円余り増加した。全体としては1億円程度増加し総額79億5千万円となっている。

**町の貯金**  
町の基金(貯金)の状況は、平成24年度には2億2千8百万円余り増え平成24年度末現在高は43億6千9百万円余りとなっている。

# 平成24年度各会計の決算状況

**歳出** 総額112億6,004万円を認定

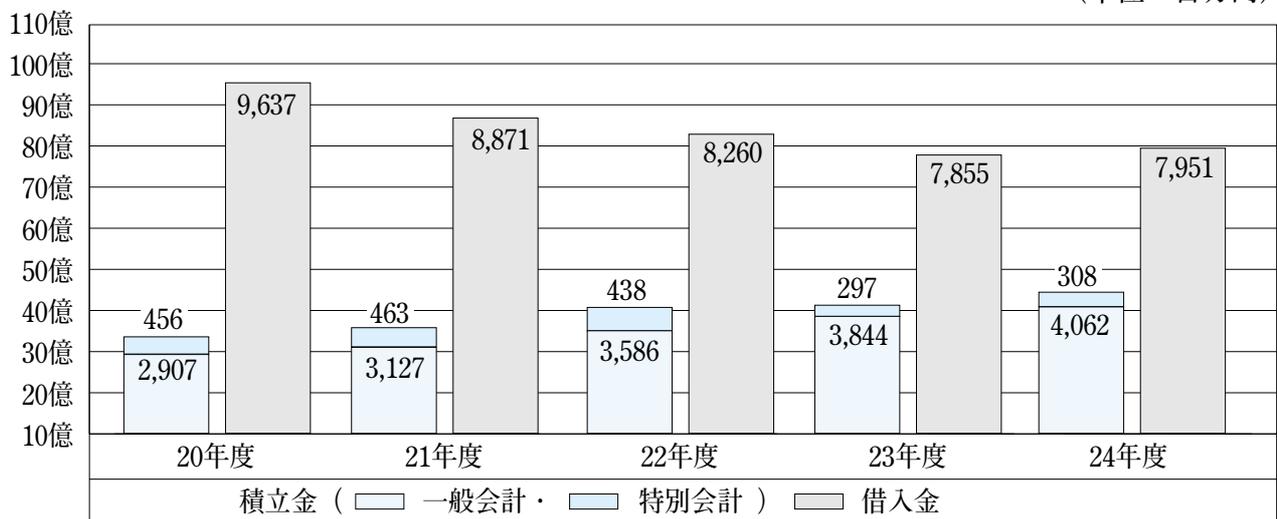
(単位:万円)

会計名	決算額				
	歳入	歳出	翌年度繰越額	実質収支額	
一般会計	61億8,486	59億5,176	1億0,124	1億3,186	
特別会計	国民健康保険	18億0,132	17億8,720	0	1,412
	住宅新築資金等貸付事業	3,774	239	0	3,535
	学校給食	5,235	5,235	0	0
	農業集落排水事業	2,099	2,099	0	0
	特定環境保全公共下水道事業	464	464	0	0
	介護保険	16億1,609	16億0,748	0	861
	後期高齢者医療	2億1,018	2億0,743	0	275
	水道事業	1億5,600	1億4,067	0	1,533
	病院事業	15億6,280	14億8,513	2,802	4,965
合計	116億4,697	112億6,004	1億2,926	2億5,767	

※水道・病院事業特別会計は収益的収支を記載

積立金・借入金の推移

(単位:百万円)



※借入金は、特別会計・一般会計の合計金額を記載

## 町債 (借入金) って何？

町が大きな事業をするために、国などから借りて、15年～30年くらいかけて返していくものです。ただし、その借入金の何割かは、国からの交付税措置で補われているため、全額が町の負担となるものではありません。(ちょっと安心！)

町としても町民の負担が少なくなるように条件の良い制度を選ぶ努力をしています。

# どう生かされたみんなのお金

## 歳出総額 112億6,004万円

市町村の財政状況を表す

①財政力指数 ②経常収支比率 ③実質公債費比率で見ると

①財政力指数 0.29

②経常収支比率 89.0

③実質公債費比率 13.7

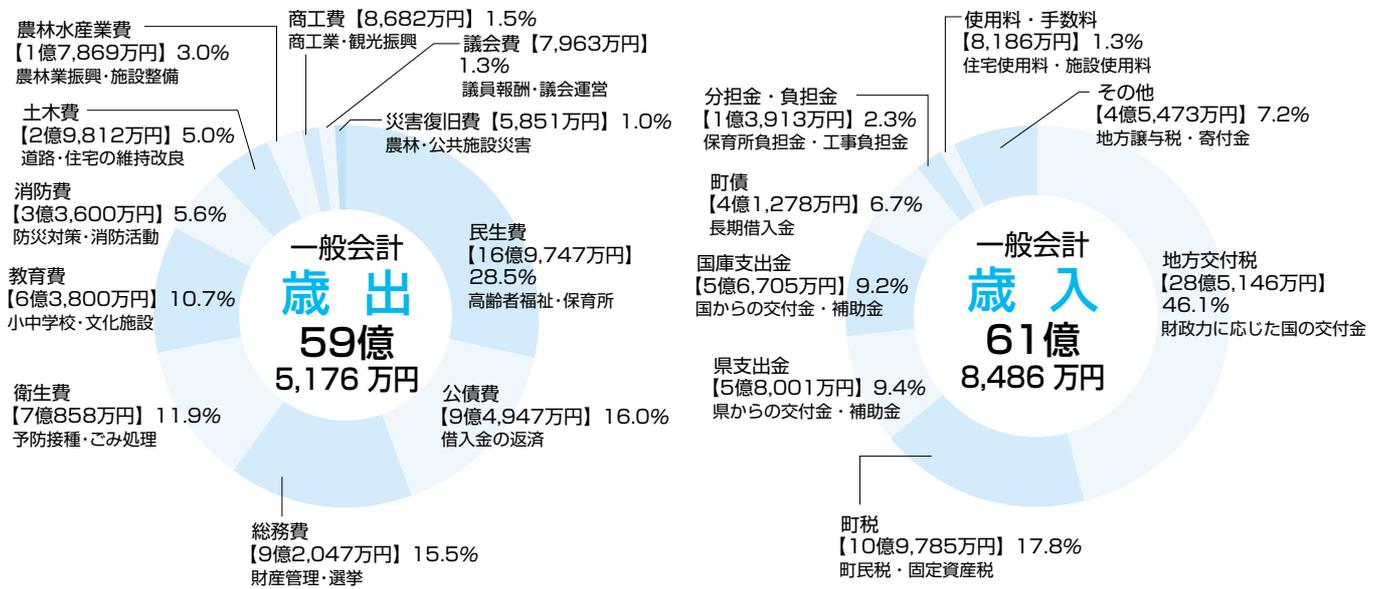
一般的な行政の仕事を行うのに必要な費用を、どれだけ自前で賄っているかを示すもの。1以上なら、一般的に「財政力豊か」とされます。

②経常収支比率 89.0

どうしても必要な経常経費が、使い道が限定されない一般財源にどれくらい占めるかによって財政の弾力性を示すもの。75%以下が適正とされています。

③実質公債費比率 13.7

自治体の収入に対する負債返済の割合を示すもの。3年間の平均値を使用し、18%以上だと、新たな借入金をするためには、国や県の許可が必要となる。



### 監査意見(要旨)

監査委員 上田益英 松浦益隆 松浦英起

平成24年度決算は、前年度と比較して歳入で3億792万円、歳出で3億2054万円と大幅に減少している。

歳入では、学校耐震工事や地方道路交付金などの大型事業に係る国庫支出金は増えたものの、固定資産税の評価替えにより税収が大幅に減少したことが要因である。

歳出では、衛生費、消防費、教育費で増加しており、この要因は、飲料水供給施設整備や高吾北広域町村事務組合消防庁舎新築特別負担金、防災行政無線個別受信機や緊急ヘリ離着陸場整備などによるものである。

一方総務費、農林水産業費、災害復旧費が大幅に減少している。その主な要因は、5年に1度の電算システムリプレイス



や大規模堰の改修工事、大規模な公共施設災害復旧工事等が完了したことによるものである。

また、未収金は一般会計、特別会計を含めて1億8430万円の前年度より4325万円減少している。租税債権管理機構での徴収、滞納整理課の徴収実績が上がっている。平成25年度から、機構改革により新しく収納管理課となり、収納業務の一元化が図られることから、滞納の防止と回収にさらなる努力を期待する。

今後も、税収等において大幅な増収の伸びは期待できない。従前以上に困難な財政運営を強いられることが予想され、引き続き財政健全化に努め、町民の福祉向上にさらに努力されたい。

## ソニアの固定資産税は

中村議員 ソニアの固定資産税は、今後順調に入るのか。

榎並谷町長 現在、同組合に移管しているが、順調に入ってくる予定である。

## 土地開発基金の有効活用を

中村議員 土地開発基金を若者定住住宅などの土地購入に利用してはどうか。

渡辺産業建設課長 土地開発基金に対しては条例で用途が決まっているので、議会と相談し有効に活用したい。

# 平成24年度 決算質疑



仁淀川林産協同組合

## 国保会計積立金の発生要因は

森議員 国保会計が厳しくなる中で、24年度の決算で1千万円余りの積立金が発生している。この要因は何か。

横山町民課長 24年度の積立金は23年度の繰越金だ。国庫支出金や県の補助が上がったこと、医療費の抑制などが考えられ

9月定例会は、9月6日から13日までの会期で開かれました。平成24年度決算の認定のほか、平成25年度補正予算をはじめ、条例改正など議案11件、報告9件、諮問案1件、意見書4件を審議し、採決の結果、賛成全員および賛成多数で全件可決しました。一般質問には8人の議員が登壇し、町政全般について、活発な論戦を展開しました。

## 平成25年度9月補正予算 (単位: 万円)

会計名	補正額	補正後の額	
一般会計	4,488	65億6,145	
特別会計	国民健康保険	3,333	18億8,563
	住宅新築資金等貸付事業	3,535	3,873
	介護保険	343	17億5,844
	後期高齢者医療	275	2億1,299

## 報告案件

### 財政健全化判断

#### 比率等の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)に基づき報告されたもので、一般会計等の実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため、数値がなく、実質公債費比率13・7%、将来負担比率も数値がなく、早期健全化基準を下回っている。

また、水道事業、病院事業、農業集落排水事業、特定環境保全公共下水道事業特別会計の資金不足比率は、いずれも資金不足はなく健全であると報告を受けた。

## 条例改正

### 牧野公園設置及び管理運営に関する条例(全部改正)

牧野公園を指定管理するにあたり、指定管理規定及び利用料金明確化など改正するもの。  
(10月1日施行)

### 佐川町議会委員会条例

常任委員の任期を1年から2年に改正するもの。  
(10月22日施行)

## 工事請負契約締結

佐川町役場庁舎空調設備改修工事  
(契約の方法)  
随意契約  
(契約金額)  
7508万円  
(契約の相手)  
土佐ガス株式会社

## 人事

### 人権擁護委員

井上 和江 氏  
佐川町甲890番地

# 9月定例会で決まりました

# 平成24年度 注目した事業

議会が

9月定例会において、認定した平成24年度各会計決算の中から、注目する事業を紹介します。

## 飲料水供給施設 整備事業



5,509万円

西山地区に飲料水供給施設を整備しました。

## 消防署庁舎耐震 改築負担金

5,785万円

佐川町、越知町、仁淀川町でそれぞれ負担し  
消防署庁舎を建て替えました。

## 尾川小中学校 耐震化事業



1億9,218万円

校舎及び体育館の耐震補強工事や職員室等の  
改造、トイレ新設工事を実施しました。



# 牧野博士、広井勇生誕 150年記念事業



**2,000万円**

特別企画展や牧野博士ツアーを開催し、町内外の多くの方々の参加がありました。

# あったがふれあいセンター 事業



**709万円**

見守り・支え合いの地域づくりを推進するため、尾川地区にすべての人々が気軽に集うことができる地域福祉の拠点を整備しました。

# さ かわナウマングランド 整備工事



**5,570万円**

グラウンド拡張工事及びフェンス設置工事を実施しました。

# 緊 急用ヘリコプター 離着陸場整備事業



**797万円**

尾川地区に防災ヘリ及びドクターヘリが使用する離着陸場を整備しました。

# 9月 補正予算ピックアップ

## 子ども・子育て支援事業

480万円

幼保一体化を含む新たな次世代育成支援のためのシステムを構築するもの。

## 電子計算費

390万円

職員のパソコンの入れ替え、及び選挙システムを導入するもの。

## 道路橋梁維持費

974万円

長竹地区の老朽化した橋梁を架け替えるもの。

## 仁淀川森林組合出資

1000万円

地域林業の振興に向けた組合の体質強化のため3町が出資するもの。

## 安心生活基盤構築事業

850万円

あつたかふれあいセンターや集落活動センターを利用した要援護者の生活支援を実施するもの。

## 小学校耐震化事業

186万円

佐川小学校の特別教室を耐震診断するもの。



平成25年度

## 第2回臨時会

10月22日開会

### 人事

#### 固定資産

#### 評価審査委員

織田 和主 氏  
佐川町平野525番地  
(賛成全員)

### 補正予算

正

介護保険特別会計予算の組み替えによる補正  
(総額に変更無し)  
(賛成全員)

## 高吾北 広域 町村事務組合 議会

9月20日

### 《組合長 諸般報告》

#### 消防救急無線

電波関係法令の改正に伴い平成28年5月までに従来のアナログ方式の無線機をデジタル方式の無線機へ全面的に更新する。

消防本部としては、平成26年度デジタル化に向け、本年度に佐川町中山地区にあるテレビ高知中継所施設の購入費とシステム全体の実施設計委託費を予算化している。このうち実施設計はほぼ完了した。

#### 工事請負契約の締結

高吾北衛生センター基幹的施設設備工事  
(契約の方法) 一般競争入札  
(契約金額) 5億400万円  
(契約の相手方) 株式会社クリタス 西日本支社

### 平成24年度決算

(単位：万円)

会計名		歳入総額	歳出総額
一般会計		13億2,751	12億7,906
特別会計	特別養護老人ホーム	14億4,678	12億5,578
	養護老人ホーム	1億3,870	1億1,329
	障害者支援施設	2億1,686	1億6,099
	ふるさと市町村圏	3億2,351	2億9,586
合計		34億5,336	31億0,498

# 意見書

## 国にももの申す

総理大臣をはじめ、  
関係機関に意見書を提出



### 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書

(提出者 松本正人)

地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全等の森林吸収源対策や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネルギーの活用などの取り組みを、山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠である。

自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかることに加え、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める。

(要旨)

### 日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書

(提出者 総務文教常任 委員長 徳弘初男)

2015年NPT(核不拡散条約)再検討会議にむかつて核兵器のない世界への行動が直ちに開始されるよう、第3回準備委員会をはじめ核軍縮・廃絶と安全保障にかかわる諸機関で、日本政府が目標を分かち合う多くの国々と協力し、核兵器全面禁止条約の必要性と、その実現のための行動を提起するよう要望する。

(要旨)

### 道州制導入に断固反対する意見書

(提出者 徳弘初男)

我々町村議会は、平成20年以来、町村議会議長全国大会において、その

総意により、「住民自治の推進に逆行する道州制は行わないこと。」を決定し、政府・国会に対し、要請してきたところである。

町村は、これまで国民の生活を支えるため、食料供給、水源涵養、国土保全に努め、伝統・文化を守り、自然を活かした地場産業を創出し、住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。それにもかかわらず、効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではない。多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが、ひいては、全体としての国力の増強につながるものであると確信している。

よって、我々佐川町議会は、道州制の導入に断固反対する。

(要旨)

### 来年4月からの消費税率引き上げを中止することを求める意見書

(提出者 総務文教常任 委員長 徳弘初男)

現下の経済情勢は、株価の上昇や円安により一部高額所得者や輸出大企業には利益をもたらしているが、多くの国民にとっては、物価高、原材料費の高騰などでますます生活が圧迫される状態となっている。さらに年金受給額が減り、医療や介護の負担が増大している。このもとの消費税増税は、個人消費をますます冷え込ませ、デフレ不況克服という課題を遅らせることになりかねない。

また、高知県は「産業振興計画」の実施により経済活性化の必死の努力が続けられている。中小零細企業、低所得者層が全国的にも多い高知県経済にとって、消費税増税

は決して効果があるものとはならず、「産業振興計画」の遂行を妨げるものにもなりかねない。

消費税法附則18条3項では、経済状況によっては「施行の停止を含め所要の措置を講ずる」と増税中止を選択することも可能と明記されている。法の解釈どおり「施行の停止」を実施することを求める。

(要旨)

### 請願

佐川町に初めて  
の図書館建設を  
求める請願

#### 採択

附帯意見を付け  
執行機関へ提出

附帯意見

建設の時期については、本町の財政状況等も踏まえ、慎重に検討され、将来において文教の町にふさわしい図書館を整備する努力をされたい。

(要旨)

# 議員各位の意思表明

賛否表(平成25年9月定例会)    △:議長    ○:賛成    ●:反対    棄:棄権    欠:欠席    除:除斥

議案名	議員名	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村統正	坂本貞雄	中村卓司	氏原義幸	松本正人	西村清勇	今橋寿子	嶋崎正彦	徳弘初男	藤原健祐	永田耕朗	
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
認定第1号	平成24年度佐川町一般会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
認定第2号	平成24年度佐川町国民健康保険特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
認定第3号	平成24年度佐川町住宅新築資金等貸付事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
認定第4号	平成24年度佐川町学校給食特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
認定第5号	平成24年度佐川町農業集落排水事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
認定第6号	平成24年度佐川町特定環境保全公共下水道事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
認定第7号	平成24年度佐川町介護保険特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
認定第8号	平成24年度佐川町後期高齢者医療特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
認定第9号	平成24年度佐川町水道事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
認定第10号	平成24年度佐川町病院事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議案第64号	平成25年度佐川町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議案第65号	平成25年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議案第66号	平成25年度佐川町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議案第67号	平成25年度佐川町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議案第68号	平成25年度佐川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議案第69号	牧野公園設置及び管理運営に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議案第70号	牧野公園の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議案第71号	旧浜口家住宅の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議案第72号	佐川文庫庫舎の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議案第73号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
議案第74号	平成24年度佐川町水道事業特別会計利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
発委第1号	佐川町議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
発委第2号	日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
発委第3号	来年4月からの消費税率引き上げを中止することを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	△
発議第6号	道州制導入に断固反対する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
発議第7号	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
請願	佐川町に初めての図書館建設を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△

8人が町政を問う

ここが聞きたい



松浦 隆起 議員

防災メール

# 導入を

総務課長 前向きに検討したい

災害時の情報手段は、  
幾重に重ねてもやりすぎ  
はない。災害時のさまざ  
まな情報、日常的には行  
政情報、不審者情報、そ  
ういったものを配信でき  
る本町独自の防災メール  
の導入を。  
岡林総務課長 東日本大  
震災の教訓から、防災メ  
ールの導入について前向  
きに検討したい。  
いずれにしても、やる  
としたら来年度予算でと  
いう形になる。



手すりがあると安心

介護保険における住宅改修費支給

# 国が定めたものだ

健康福祉課長 強制的運用、改める

介護保険を利用した住  
宅改修について、9月の  
町広報に、「利用者が希  
望する改修事業者と別  
に、1社以上の町の指定  
する事業者から見積もり  
を取り、より安価な事業  
者で住宅改修を行うこと  
になりました。1事業者  
のみを指定して改修を行  
う場合は、全額自己負担  
となります」との記事が  
出た。介護保険における  
住宅改修の支給は、国が  
定めたものだ。高齢者の  
立場に添った施策とは思  
えない。  
岡崎健康福祉課長 県に  
確認したところ、複数の  
見積もりを取ることを強  
制したり、町が見積業者  
を指定したり、申請者の  
意向にかかわらず、一番  
安価な業者に指定する仕  
組みを町独自で行うこと  
は、制度の運用上、疑義  
があり、介護保険の適用  
外とすることはできない  
と思われるとの回答を得  
た。強制的に運用するこ  
とは改め、次回の広報で  
訂正し、周知したい。

産後支援ヘルパー制度

# 重要な取り組み

健康福祉課長 子ども・子育て会議で

出産後の産褥期の母親  
を支援するため、ホーム  
ヘルパーを派遣し、家事  
や育児を援助する制度  
は、母親の精神的、肉体  
的負担を軽減し、産後の  
支援をする重要な取り組  
みだ。産後支援ヘルパー  
制度の実施を。  
岡崎健康福祉課長 核家  
族が進む中で、ますます  
お母さんだけに子育ての  
負担がかかりやすくなっ  
ている見方もあり、子育  
て支援策として、重要な  
視点と考える。  
子ども・子育て会議の  
中で、検討したい。



元気に大きくなってね



森 正彦 議員

## 全国学力テスト

# 成果はどうか

教育長 格差は縮小している

文部科学省は2013年度の全国学力テストの結果を公表した。このテストに当町はどう取り組んできたのか、そしてその結果と成果はどうか。



僕たちががんばっているよ

川井教育長 全国平均と比較すると、小学校では国語Aと算数Aでは上回り、中学校では全ての教科で下回っている。県平均との比較では、小学校では全ての教科で下回り、中学校では国語B以外は上回っている。佐川町では、組織的な校内研修、子どもにわかる授業づくり、予習・復習の質と量を高める3本柱で取り組み、格差は着実に縮小している。

## 酒蔵ロード劇場

# 冬に開催の理由は

産業建設課長 学校行事との関係

酒蔵ロード劇場は上町の白壁に切り絵を投影した美しい祭り、文教のまち佐川にふさわしい祭りだ。この祭りが夏から冬の開催に変更された理由は何か。渡辺産業建設課長 昨年の第5回終了直後に指導者の方から、この祭りをさらに発展継続するには、企画や実施段階で地域の方々の関わりがもっと必要とのアドバイスがあった。そこで次代を担う子どもたちに関わりを持たせた催しにするために町内の学校に相談し、学校行事の関係上12月7日となった。

## 農地利用状況調査

# 結果は

農業委員会 耕作放棄地増加  
事務局 長



荒らしたくないが・・・

氏原農業委員会事務局長 当町の優良農地は941・2ヘクタールであり、その中で農業委員会が指導しなければならぬ耕作放棄地は約124・6ヘクタールあり、この3年間で約19・9ヘクタール増加している。新規就農者への農地集積は産業建設課と連携して取り組んでいる。株式会社への貸借の実績は現在ない。

平成22年度から実施している農地利用状況の結果と内容、また新規就農者への農地のあっせん、株式会社への貸借の状況はどうか。

その他の質問 ○町有地の販売促進対策について



氏原 義幸 議員

榎並谷町政2期8年

# 達成率は

町長 8割に至ってない

榎並谷町長 鷹ノ巣養豚団地及び公共下水道用地の跡地を太陽光発電に利用、町内の小中学校、そして病院の耐震化。上町の町並み保存と利活用、佐川歩道トンネル、町行財政改革、玉割小橋建設等実現した。霧生関公園は頓挫している部分はあが公園として活用できるようにしてほしい。自己判断では、まだ8割の達成率には至ってないと考える。

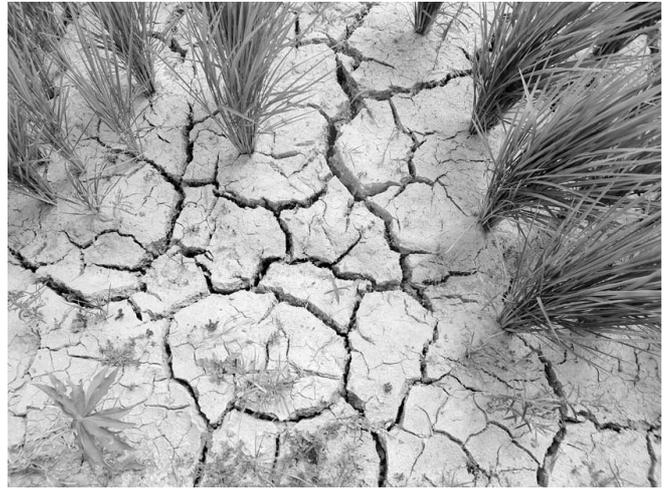
高温と少雨

# 被害状況は

産業建設課長 ショウガ、梨で被害あり

高温と少雨での農産物の被害状況を、本町はどのように把握しているか。渡辺産業建設課長 8月中旬、農業改良普及所が調査し被害報告書を出している。

佐川、越知、仁淀川町、日高村管内で、ショウガの被害面積が18ヘクタール、被害状況は少雨による成育遅延、梨については、佐川、越知町、日高村の6ヘクタールで、少雨による小玉化と報告を受けている。



田んぼのひび割れ こりやたまらん

福祉避難所

# 確保は

健康福祉課長 協定を進めたい

体の不自由な人たちが避難する福祉避難所の確保は十分にできているのか。岡崎健康福祉課長 現在「健康福祉センターかわせみ」を指定している。かわせみは、一般の避難所

にも指定されている。大規模災害時に備えて、民間、町立の高齢者、障害者施設を福祉避難所として、地域防災計画の見直しもあわせて施設との協定を進めたい。



福祉避難所に指定されているかわせみ



松本 正人 議員

## 社会保障制度

# 自治体の役割は

町長 不公平にならないように

政府の諮問機関「社会保障制度改革国民会議」の最終報告があった。それによると、介護保険で要支援1、2の方を保障給付の対象から外す、要介護1、2の方を特養ホ

ームの対象から外す、介護保険制度の持続のため利用料を引き上げる等の方向性が明示されている。

また、国保の運営を県単位にまとめる。年金についても支給額を財政的条件に合わせて下げる等の方向性が明示されている。

これらが現実となると自治体の果たさなければならぬ役割はますます大きくなる。どう対処するのか。

榎並谷町長 報告書を読んだが難解だ。自助・共助・公助の中で、まず自助を基本とするという文言が気になった。健康保険制度は自治体によって違いがあるが、国なり県で統一すべき。

年金においては個人で負担するにしても、税金で負担するにしても国民が負担することになる。少なくとも不公平にならないような制度構築を国にお願いしたい。

## 医療費無料化

# 中学生まで実施を

町長 小学生まで



元気に通学、中学生にも安心を

高すぎる国保税を下げ、交通弱者への手当を強める、中学校卒業までの医療費を無料化する等の議論をしてきたが、どれもまともに取り組まれなかった。

特に中学校卒業までの医療費無料化についてはこれまで「中学生は子どもでない」という理由が答弁されてきた。納得できない。

榎並谷町長 それらについては、やらないとは言っていない。

医療費無料化は子育て支援の一環で、小学生までで線引きをした。

## 住宅リフォーム助成制度

# 具体的構想は

産業建設課長 平成26年度から



住宅リフォーム

住宅リフォーム助成制度は、先の議会で来年度から導入する旨の答弁があったが、現時点の具体的な構想は。

渡辺産業建設課長 住宅耐震改修促進の手だての一環として26年度から耐震改修とリフォーム制度を同時に行う制度を実施したい。具体的内容は検討中。



今橋 寿子 議員

### 避難場所

# 安全性の確認

## 総務課長 防災計画見直し行う

災害は地震だけではなく集中豪雨等によっても起こる。避難場所となる集会所の安全性は十分か。

また、それぞれの自主

防災組織が十分機能して

いるか、指導をしている

か。

岡林総務課長 各自治会の公民館や集会所は73カ所ある。23年度調査では浸水に対して、危険と判断されたものは12カ所、断されたものは63カ所、地震、水害ともに対応できない施設は9カ所ある。地域防災計画における緊急避難場所指定の見直しを考えていく。県の補助金を検討して避難所の改修を進める。

自主防災組織について

は町全体の協議会の結成と組織の自主的な防災訓練やリーダー研修に取り組んでいく。

### 路線バス

# 見直しを

## 総務課長 委員会で検討



住民の足として

人口は減少し、車社会となっている。路線バスの見直しの必要性を言われて20年ほどになるが、全く進展が見られない。どのような考えなのか。

岡林総務課長 これまで

何もできてなかったの

で、今後、委員会等を立ち上げて検討していきたい。

榎並谷町長 20年間検討

はしたが、なかなか解決

できなくて現在に至って

いる。

### 霧生関公園

# どっさり引き継ぐ

## 町長 火薬庫移転先まだ

6月議会での質問の中で、まだ解決できてない用地境界の等価交換、火薬庫の移転については、任期中に正して後任の行政に引き継ぐとの答弁であったが、そのめどはあったのか。

榎並谷町長 用地の境界については了解いただいたが、火薬庫に対しては適切な移転先が見つかっていない。



霧生関公園 さあどうする



西村 清勇 議員

### 町営住宅

# 有料駐車場を

## 総務課長 検討する

町営住宅富士見団地は現在、車が1台しか止められない。町有地を活用して有料駐車場をつくってはどうか。また全室にシャワールの設置はできないか。

岡林総務課長 駐車場に關しては、今、一家で2台、車を所有する状況である。民業への圧迫等考慮して検討をする。

渡辺産業建設課長 使用可能な風呂釜を撤去して公費で新しくシャワー付き風呂釜を設置することはできない。しかし、近年、生活環境の変化等考えられるので、今後、役場で議論を進め検討する。

### 黒岩中央保育所

# 建て替えを

## 健康福祉課長 良い方向で検討

黒岩中央保育所は建築後36年たっている上に使い勝手も悪い。耐震診断を受けるよりは、新しく建て替えてはどうか。

岡崎健康福祉課長 立地条件と財政的な問題と課題を整理して、より良い方向で検討していく。



ひび割れ、雨漏りもしている黒岩中央保育所

### 霧生関トンネル

# 歩道設置を

## 町長 国に投げかける

町内で歩道のないトンネルは霧生関トンネルだけだ。道幅が非常に狭く危険である。国に陳情してはどうか。  
榎並谷町長 歩道設置には大変厳しい地形にあり、歩行者が比較的少ないこともあってなかなか国に言いにくい。何かいい方法がないか、私の方から国にもう一度投げかけていきたい。



歩道がなく危ないトンネル



中村 卓司 議員

8年前、前町長から引き継いだ霧生関公園事業は、火薬庫や境界線等の残された問題がある。今後ヘリポートやテニスコート等公園事業を次期政権に引き継ぐか。

### 霧生関公園

# 引き継ぎは

## 町長 引き続き議論を

榎並谷町長 境界問題は隣の地権者の理解はいただいている。火薬庫の移転は基本的には了解できているが、場所は決定していない。また、開発許可の変更の問題も残されている。

基本的には運動公園として引き継ぎたい。どうするかは議論を引き続きお願いしたい。



上町整備は進んでいるが・・・

### 歴史的街並み整備事業

# 今後どうする

## 町長 事業延長も検討

町長は上町整備事業をどこまでを理想としてやってくるのか。

また次の段階へ発展はあるのか。それをどう引き継ぐのか。

榎並谷町長 この事業によって司牡丹、牧野公園も整備が進められる。経

済効果があることや、若者の働ける場として開発が進められれば良いと思う。

この事業は今年度で終わるが、国から延長してはとの話があるので次期町政に引き継ぐ。今後も検討してほしい。

### 柳瀬川改修

# 予定は

## 町長 事業化予定

黒岩地区の柳瀬川河川改修はどこまで進んでいるのか。そして町としての県や国への働き掛けがどの程度行われているか。

また、基盤整備も一緒にということだったが、その引き継ぎはどうか。

榎並谷町長 来年度から補助事業化される予定である。農業基盤整備の面からも、ほ場整備は真剣に取り組み、具体的に検討していかなくてはなら



田畑は一面の水の中

ない。

町として、国や県に河川改修、基盤整備の推進を発信し続けてほしいと引き継ぎたい。

その他の質問

○教育長の職務について。

○副町長不在での行政について。

以前、加茂診療所の再開を質問したが、今の高北病院の医師不足の体制の中では難しいとの返答があった。どのような条件が整えば再開できるのか。

## 加茂診療所

# 再開条件は

病院事務局長 総合的判断必要

坂本 貞雄 議員



笹岡病院事務局長 再開のためには、第一に法律で定める医師が一定数充足されていることが最大の条件といえる。次に加茂に診療所を設置する必要性が相当高いことが求められる。3点目として高北病院の経営上の視点も無視できない。4点目として、これらの事情を総合的に検討のうえ、議会の意見もいただきながら判断していくことになる。



急にせまくなっている町道

## 町道天神谷2号線

# 工事再開を

産業建設課長 ゼロからの出発に

町道天神谷2号線の改良工事を再開してもらいたい。この工事の現状と工事再開の条件は何か。渡辺産業建設課長 この工事は当初、集落内連絡道の位置づけで計画されていたが、地元の調整が難しく、連絡道から農道という位置づけに変更した。農道については農水省の補助事業で、すでに完了している。今後は、自治会長はじめ集落の方々が要望を取りまとめ申請し、新規改良工事としてゼロからの出発となる。

## 佐川の桜

# 昔日の姿に

町長 想いをつないでいく

昭和30年代の佐川の桜は見事でした。私に佐川への永住を決意させるほどでした。17歳の少年の心を揺さぶった昔日の桜の佐川を取り戻してほしい。町として何をなすべきか。



20年前の桜満開の奥の土居

- 借りて手入れをしている。奥の土居の壮大な風景を昔日の姿に戻すよう、想いをつないでいきたい。
- その他の質問
- 町立美術館をつくらせてほしい。
- 佐川町に企画課をつくらせてはどうか。
- TPPに断固反対を。



# 佐川町手をつなぐ親の会

— 手をつなぐ親の会に入ったのはいつですか。

30年前にわが子の障害に悩んでいたころです。

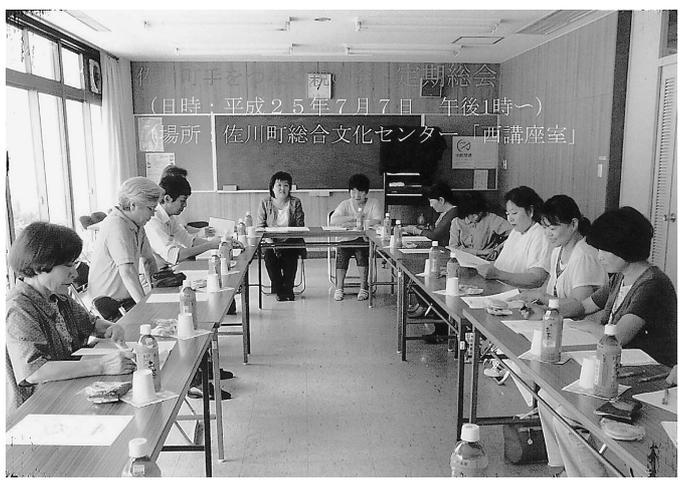
— 入られてどうでしたか。

本当に助けられました。一人で悩んでいたのが、同じ悩みを持つ人たちと話ができて、目の前が明るくなったようでした。

わがまち「人」では、この佐川のまちで元気に活躍されている方にスポットをあて紹介します。  
今回は、障害児を持つ親の会「手をつなぐ親の会」の会長をされている藤田千砂さんにお話を伺いました。



藤田 千砂 さん



（日時：平成25年7月7日 午後1時～）  
（場所：佐川町総合文化センター「西講座室」）

— 苦労はありませんでしたか。

健康福祉課の方々が親身になって支えてくれますし、会員の皆さんとともに活動していますので、特にはないですね。

— 今後の抱負は。

抱負とかではなくて、障害があるなしにかかわらず、「二人で悩まないで」ということですね。

どうもありがとうございました。取材をしていて、大変さわやかな気持ちになりました。  
これからも皆さんでよい活動が続けていただきたいと思います。

あなたの周りに、人知れず「佐川のまち」の元気のために活躍されている「人」をぜひ、ご紹介下さい。  
→ご連絡は議会事務局まで。

— 佐川の会は現在何人で活動していますか。

親の会員が20人、社協とか関係者が10人の30人です。  
今年、5人入ってくれました。

— 入られた方はどうですか。

わが子の障害が分かったときは、本当につらいですよ。  
会に入ってみんなと話し、悩みを乗り越えていく過程で明るくなってきましたね。  
うれしいです。



佐川町手をつなぐ親の会 クリスマス会 (2013.12.16)  
ゲーム？じゃんけんの勝者から順にプレゼントをいただきます。

# あれはどうなったか？



## 町有住宅地かいな小富士団地 完売に向け取り組むべき (平成22年6月定例会)

平成22年度の販売実績は1区画だ。問題は単価が現状にそぐわないことと、職員が用務をこなしながら、専門的な土地の販売を行うことに無理がある。完売に向けてプランを練り、取り組むべきだ。(森 正彦議員)

<関連質問> 片岡議員

### 総務課長 答 弁

## 不動産業者に依頼

現在19区画売れ残っている。町内の不動産業者に販売を依頼し、若者定住対策補助金の制度を拡充している。その他対象を個人住宅でなくアパート等も対象とすることを考えている。

## 分割・縮小で対応

現在18区画売れ残っている。販売開始以来10年間で、単価は約30パーセント下落しているが見直しはされていない。また、区画が広すぎるのではないかとということで、分割・縮小する案を検討している。

どう  
なった

あなたが選んだ議員の  
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は12月6日(金)午前9時  
開会予定です。傍聴においでください。

### 議会広報編集委員会

委員長	森 正彦
副委員長	片岡 勝一
委員	邑田 昌平
委員	坂本 玲子
委員	下川 芳樹

※わかりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

### 編集 後記

議員選挙があり、3名の新議員が誕生した。  
当議会での広報編集委員会は、新しい議員から順次5人を選出することが慣例となっており、新人議員と2期目の2人が担当することとなった。  
今回の議会日より、榎並谷町政最後の議会であったせいか、一般質問の内容はこれからの町づくりの議論よりも今までの検証の議論が目立つ議会であった。  
新しい堀見町政が誕生した今回の議会では、町の未来に向けての議論が多くなるのではないかとと思われる。  
「議会だより」は、町民の皆様と議会をつなぐ大切な役割を担っている。より多くの皆様に見ていただくために、正確で読みやすい内容としていきたい。  
森